

はじめに(問題の一例) (No.1~5)

- 「人新世」の時代は、人間が創り出したもの。同様に「人権問題」も人間(社会)がつくったもの。…人間社会が解決すべきもの
- ➡SDGsの内容は、すべて人権に関わるもの。

松山市を代表する指導者です
推進員の皆様は

人権教育と道徳教育のコラボ

(No.32~66)

- 「人権」「人権感覚」「人権意識」「人権教育」の基本的押さえ
 - ・人権内容…いのち、自由、しあわせに生きることの三つ
 - ・人権感覚…人権侵害に対する怒りの感情、人権尊重・人権擁護に対する喜び
 - ・人権意識…人権侵害を決してしない、人権擁護を進んで行おうという強い思い
 - ・人権教育…人権尊重のための知識・技術の習得、人権尊重の態度の形成により、人権文化(日々の生活の中に人権内容が根付くこと)をつくる

○人権教育と道徳教育のコラボレーション(心は道徳、行動は人権)

- ・人権教育により育つ内容
 - ①人権侵害・擁護の判断、②人権感覚
 - ③人権意識、④人権を守る実践行動
- ・道徳教育により育つ内容
 - ①善悪の判断、②道徳的心情、③道徳的实践意欲と態度、④道徳的行為

このように二つの教育が目指すものとしての根っこは同じようなもの

同和問題を考える

(No.6~31)

- 松山市の実情から…
 - 部落差別が現存している。
- 部落差別の原因(一例)
 - 不安や恐れが意識としてあること。
 - 「家」「違い幻想」「異質排除」「差別される恐れ」「無難志向」「世間の存在」など
- 同和問題に関する知識の習得…部落差別の歴史

障がい者差別の解消を目指して

(No.67~85)

- 「障害者基本法」「障害者差別解消法」の二つの法律に則り…
 - ・障がい者に対する差別の禁止を規定
 - ・共生社会をつくるために、障がい者の自立や社会参加の支援
 - ・社会的障壁を取り除くための合理的配慮の実行を規定
- 共生社会実現ため、「ダイバーシティ&インクルージョン」のための意識改革の必要性
- ➡人権教育・道徳教育のコラボ

まとめ

人権問題の根っこ(No.86~91)

(部落差別、障がい者、コロナ差別)

- 人間の自己防衛本能ともいえる「不安や恐れ」から生じる異質の排除
- 正しい判断と理性による自己防衛本能の抑制

➡人権教育と道徳教育のコラボ

差別、偏見を見抜き、許さないという怒りを覚え、差別や偏見を決してしてはならないという強い思いをもたせることの重要性